

み

ん

な

の

文

芸

短歌 全16首

榎本順江選

投稿数 15句

燈下親し単身赴任の子へ便り

三沢 真下 杏子

(評)便利な通信機器が文字を瞬時に相手に届けてくれる現在ですが、自筆の手紙が届くのは格別です。単身赴任の子へ燈下手紙を書く、元気か、食事はと思いを馳せ、ペンを走らせる母、何より嬉しい便りが息子に届きます。二句目、日向ぼっこをしながらのお茶の時間、美味しい漬物とお菓子、冬陽を浴びてのおしゃべりは至福のひと時。つい時間を忘れてしまいます。中七の表現が暖かさを増します。三句目、白磁は中国の景德鎮で作られ、日本には江戸時代に製法が伝わり有田で焼かれています。熟した柿を乗せる為に取つて置きの皿を選んだ。純白の皿に朱色の柿が映えて素敵な句になりました。

冬の陽を背に纏わせてティータイム

君は邪魔艶やか大きな柿の種

熟し柿白磁の皿を選びて乗せ

皆野 引間 千鶴

産土神に感謝の日々や元旦

鐘楼に人在り涙ゆる里の朝

皆野 村田ハツ代

皆野 根岸 詩子

小春日にとげぬきじぞう清めけり

国神 鈴木 正文

仏像も古びし寺や草紅葉

小春日にとげぬきじぞう清めけり

皆野 萩原 初恵

軽トラはしゃくし菜積み上げ道の駅

理科テスト光の反射冬の虹

上日野沢 四方田利男

國神 藤原マキ子

皆野中一年 太幡琉美花

三沢 新井 民子

蒼天に透かして尾根の冬木立

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 根岸 詩子

皆野 中一年 太幡琉美花

小春日の祝賀パレード厳肅に令和の船出安寧の世を

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

限り無く青き空飛ぶ飛行機は雲の線引き西に消え行く

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

おばちゃんからと幼児大根引きすりてママをめざして畑中つづきる

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

境内の椅子に座りて餅食みつ語らう人等包む秋の陽

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

日本の被災地めぐる法皇の祈る平安心安らぐ

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

シャクシ菜大きく出来てほめている井戸水汲み上げ洗う手勢い込む

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

沿道の歓声に笑み絶やさずに手を振り給う即位パレード

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

80才こんな大雨見た事無川面が見る見る盛り上るア

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

目標が達成できず落ちこんで米津玄師を口ずさむ夜

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

郷土の偉人渋沢翁の銅像は凜凜しくありて秋天に立つ

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

娘と孫の交換ノート覗いたら褒めて育てる姿勢の見ゆる

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

紅葉の朝日輝く山を背に笑の中でグランドゴルフ

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

秀喜ちゃん『秩父街道恋の町』うまいフレーズ考えたいなあ

皆野 中一年 太幡琉美花

皆野 中一年 太幡琉美花

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して
みらい創造課までお寄せください。
1人1句、1首に限りります。

6日必着

今月の題字

皆野小4年

請川 雪羽さん



児童の見守り放送

皆野小2年

児玉 桜優奈さん



充紀くん

下大浜区
堀口保明さん
慶子さん笑顔のかわいいみつきくん
おねえねと一緒に元気に大きくなってね

真矢ちゃん

下三沢区
若林聰子さん

これからもかわいい笑顔たくさん見せてね



※満1歳の赤ちゃんを募集します。2月号の締め切りは、1月10日(金)まで。ホームページからも応募できます。